

事務事業評価表 平成23年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 市民スポーツ活動の充実
 基本事業 スポーツ・レクリエーション機会の充実

事業名 **大麻体育館管理運営事業**

[0509]

| | | | | | |
|----|-------|--------|---------|----------|------|
| 部名 | 教育部 | 事業開始年度 | 平成 - 年度 | 実施計画事業認定 | 非対象 |
| 課名 | 生涯学習課 | 事業終了年度 | 平成 - 年度 | 会計区分 | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 | |
|------------|--|
| 対象 | (誰、何に対して事業を行うのか) 大麻体育館 |
| 意図 | (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。 |
| 手段 | (事務事業の内容、やり方、手段) 施設の管理運営を指定管理者に委託する。 |

| 事業量・コスト指標の推移 | | | | | | |
|----------------|---------|----|---------|---------|---------|---------|
| 区分 | | 単位 | 20年度実績 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度当初 |
| 対象指標1 | 施設数 | 施設 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | 指定管理委託料 | 千円 | 33,702 | 33,383 | 24,728 | 24,728 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 利用者数 | 人 | 134,639 | 142,758 | 135,098 | 132,500 |
| 成果指標2 | | | | | | |
| 単位コスト指標 | | | | | | |
| 事業費計 (A) | | 千円 | 33,702 | 33,383 | 24,728 | 24,728 |
| 正職員人件費 (B) | | 千円 | 836 | 415 | 403 | 407 |
| 総事業費 (A) + (B) | | 千円 | 34,538 | 33,798 | 25,131 | 25,135 |

| 費用内訳 | |
|------|--------------|
| 22年度 | 委託料 24,728千円 |

事業を取り巻く環境変化

| | | | |
|--------|--|-------------|--|
| 事業開始背景 | | 事業を取り巻く環境変化 | |
|--------|--|-------------|--|

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

市民がスポーツに親しむ機会を提供することにより、市民の健康維持やスポーツの普及・促進につながっており、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

市民の身近にあるスポーツ施設として活動場所を提供しており、特に平成10年度に開設したトレーニング室は利用者数が多く、市民の健康づくりに対する意識が高くなってきている。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

学校週休2日制により児童生徒や親子連れの利用者が増えているとともに、高齢者も余暇の時間をスポーツに費やす傾向が見られ、市民皆スポーツという大きな目標に向け、成果が上がってきている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

スポーツ振興団体の下、34のクラブ団体が登録して活動しており、また、一般の利用者も多く、地区のスポーツ活動が活発であることから、成果が向上する余地がある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

平成18年度より指定管理者制度を導入した。